



●建物概要
 認定こども園七松幼稚園 耐火RC造3階建て 平成28年3月竣工 延床面積2,396.07㎡
 ななつまつナーサリー 耐火RC造1階建て 令和元年11月竣工 延床面積 198.55㎡
 ●敷地面積 2,762.52㎡ ●設計監理 株式会社藤田建築設計事務所

外観全景



遊具スペースの築山すべり台



自然スペースの実のなる樹の採取



オープンスペースの園庭

I. 理念を普遍的に表し、多様な人達が集う園

～さんかく屋根の大きなおうち～

周りの状況が変わっても、常に多様な子ども、保護者、保育者、地域の方の居場所であり、笑顔で繋がり、その和が他の人にも繋がり、集い、皆で、子どもの育成環境をより良くしていくことを大切にしている。6歳までの生活の多くを園で送るようになることから第二の家になるような外観、また内装についてもナチュラルウッドカラーを中心とした配色にしている。長時間生活する場として、保育室、ランチルーム、中庭、3Fホールといった多様な生活の場を提供できるようにしている。また、多様な子ども達同士が関われるように、保護者も集えるように保育室が隣同士繋がる扉、中庭の周辺から見渡せるように窓張りすること、また保護者や地域の方々が集える地域交流スペースとして活用し、絵本の部屋や子育て相談に応じるカウンセリングルームなど職員のお子様を預かる企業主導型保育事業所を有することで、保育者にとっても第二の家となるようにしている。



木を使い温かみのある保育室



隣同士につながる扉(指詰め防止ゴム設置)

II. 園舎内は安全、園庭はチャレンジができる園

～心身共に、たくましくて、しなやかで、粘り強いこどもに～

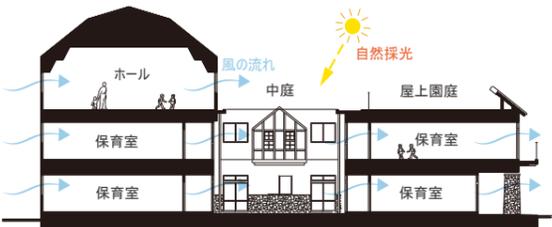
子どもが長い時間生活する場であることから、設計において、基本的な安全面は考慮されている。トイレや防火扉の指詰め防止、吊戸棚の耐震ラッチ等がある。3Fホールについては、津波や河川の氾濫が起こった際の避難場所として想定している。園庭と屋上園庭については、子どもの遊びを充実させ発育発達を促せるように①自然スペース②オープンスペース③道スペース④アナーキースペース⑤アジトスペース⑥遊具スペースを想定しており、さらにチャレンジできる環境としており回遊性を園庭全体に持たせている。砂場にはガチャポンプで水を使うようにできていることや高さ3mになる築山、そしてそこまで渡ることのできるロープを配置しチャレンジできる子が自由にできるようにしている。この築山などの遊具については、設置する際から保護者が参画する形で行い、メンテナンスも保護者と共におこなっている。



ガチャポンプで水を使う



ビオトープで生き物を観察



子どもたちのごっこ遊び

III. 子ども、保護者、地域の方、保育者が主体的に関わり

五感を通して創造的に取り組める園



南立面図(道路側)



東立面図(運動場側)

本園の教育目標に「豊かな感性を持ち、創造的に取り組める子どもに」がある。人間の五感を通して感性が育まれると捉えているので、厨房の様子が見られる小窓、調理の匂いが中庭に香るようにし、園庭には食べることができる実のなる樹を植えている。生き物、実や雑草なども園舎内に持ち込めるようにしており、玄関や保育室において季節のものに触れられるようにしている。ICTを用いた保育ができるようにWiFi設備やプロジェクター投影できる場も設けている。このような取り組みができるようにするためには、保育者の研修の場も必要と考えている。保育者は、既存のカリキュラムに拘るのではなく、子どもの実態に応じた創造的なカリキュラムとその実践の中にある科学する心についても目を向けられるようにしている。



園の行事で中庭に集う保護者



保育者の研修にも使用できる職員室